

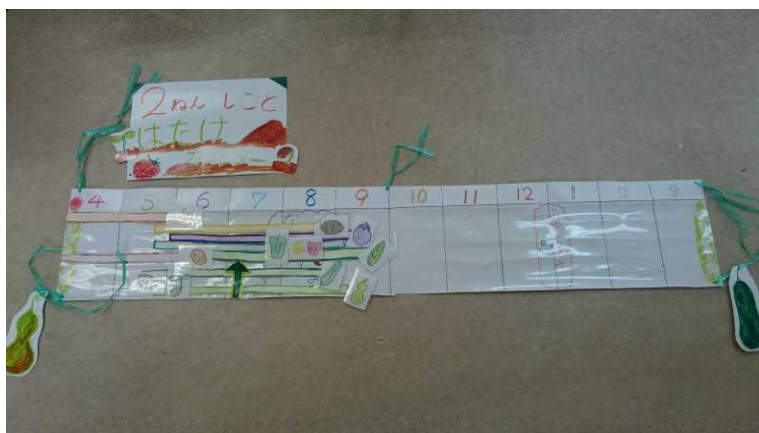
教材教具および題材	学部	授業名・集団名 (主たる教科領域)	執筆者
畑カレンダー	高	しごと 2年	伊藤雄太

<ねらい>

畑で何を栽培しているのか、いつ種まきや収穫をするのか 等、年間の見通しをもつ

<内容(作成方法・使用方法・工夫点など)>

今がどの時期なのかわかるように、矢印を動かせるようにしているので、7月なら7月のところへ矢印を移動させたりするなど、時期と工程をわかるようにしている。(していきたい。)



<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

- 縦の幅をもう少しだけ長く設定すると、重なりが少なくなり、見やすくなると思った。
- 掲示場所を授業の教室前にすることで、出入りの時や畑に向かう時に見ることができる。
- 簡単に取り外しができるようにすると、授業での活用がしやすくなると思った。
- 理解しにくい生徒に、「今日はこの辺だから収穫！」など説明がしやすい。
- 文字でわからない生徒向けに、野菜の絵を貼り付けている。

<その他(材料、費用、購入先等)>

学校にあるもので作成しました。